

いつくしみ



特集

介護保険事業拠点施設

えんじゅビル

開所のお知らせ

病院祭(いがぐり祭)の様子

CONTENTS

院長就任のご挨拶

安全で、おいしい食事への取り組み

病院からのお知らせ

シリーズ職場紹介 「かお」の見える医療を
精神科作業療法室

栄養科おすすめレシピ

結型医療提供体制へと移行すべく着々と準備が進められているといったところでしょうか。政府は、地域の実情に応じて高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来る

全国的にも稀な形態の病院です。良質な医療を提供できるよう職員一丸となって日々研鑽を積んで参りますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



院長就任のご挨拶

院長 原 重樹

このたび、飯田病院の六代目院長に就任致しました。

当院は明治³⁶年に開院、創立112年を迎える歴史ある病院であり、責任の重さに身の引き締まる思いがしております。

さて、私が大学病院から飯田に戻って³⁷年になりましたが、その間に地域の医療をとりまく環境が激変したのを今さらながら実感しております。その主たる原因は超高齢化社会の到来によるものと思われます。長寿はめでたいことであり、この長寿社会は医学の進歩と世界一素晴らしいといわれる国民皆保険制度によってもたらされたものです。一方それが医療費の加速度的な増大をもたらし、医療提供制度を考え直さなければならぬという思わぬジレンマに陥つていいるのも事実です。

現在、「社会保障と税の一体改革」の名のもとに厚生労働省主導で医療制度改革が進められています。その中身は色々ありますが、主眼は病院完結型医療から地域完

よう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援を包括的に確保してゆく体制である「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

しかし、これは病院の病床数を減らして出来るだけ在宅医療にシフトさせてゆくという方針であり、少子化、核家族化のなかでは在宅療養を今以上に増やすことはなかなか難しいという側面もあります。我々医療機関は、このような環境の変化に柔軟に対応してゆく必要がありますが、特にこの地方の病院、施設、デイサービスなどの事業所等がお互いに連携を密にして、この地域全体としてお年寄りも幸せと感じられる状況を作っていかなければならないと思います。当院としてはこのあたりのことをよく考え、当院の理念である「仁の心」を持って、この地域の文化、風習を守りながら総合的な医療サービスを提供して参ります。

当院は、一般科と精神科のベッド数がほぼ半々という

安全で、おいしい食事への取り組み

高齢化社会といわれる今、飯田病院に入院される患者さんの高齢化も進んでいます。

高齢の患者さんの中には、かむ力・飲み込む力が弱く、食事を食べる事に苦労されている方が多くいます。栄養科では2013年12月から『嚥下(えんげ)調整食チーム』を立ち上げ、介護老人保健施設アップルハイツ栄養科、言語聴覚士とも協力し、かむ力・飲み込む力が弱い方も安全でおいしく食べられるような、工夫をしています。

嚥下(えんげ)とは？

食べ物をゴックンと飲み込み、胃に送り込むことです。

□ から食べること

消化の他に、料理を見たり、かおりに感じたり、味わうといった五感を刺激し、各部の筋肉など多くの身体機能を使い全身に良い影響を与えます。

嚥下の力が低下すると…

『低栄養・脱水』

食べ物や飲み物を十分に摂れないために起こります。

『誤嚥(ごえん)』

食べ物が気管に入ってしまう、窒息や肺炎を招くこともあります。

『気力低下』

口から食べられないことによる、楽しみの喪失につながります。

①食材の見直し

嚥下調整食に向いている食材、向いていない食材の見直しを行いました。

②トロミ剤、酵素剤の検討

以前はトロミをつけるために片栗粉や、一種類のトロミ剤のみの使用で調理していましたが、食材の特性に合わせたトロミ剤や酵素剤を使用し、分量もきちんと計量することで、より均一で、時間が経っても安定した状態を保てるようになりました。

③水分を減らした調理方法

トロミをつけたり、ミキサーにかけた食事はかさが増したり、量が多すぎたり、味がぼやけていましたが、水分量の調節で味がはっきりし、適量になりました。

④やわらかく煮る

加熱時間を長くして、よりやわらかく仕上がるようになりました。

今後も多職種と協力し、患者さんからの要望に合った献立・食事の形態が提供出来るように努力していきたいと思えます。

2015年6月には軽井沢で行われた、日本病院学会でこの活動を発表しました。

9月より、管理栄養士による『ミキサー食・刻み食の作り方教室』も開催しております。

詳細は各病棟、外来窓口へお問い合わせください。

特集

介護保険事業拠点施設

えんじゅビル

開所のお知らせ



飯田市大通1丁目30番2
鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
(延床面積約1,100㎡)
3F 会議室、スタッフルーム
2F 訪問看護・介護ステーション、訪問
リハビリテーション、居宅介護支援
1F デイサービスセンター

当院は、介護保険事業拠点施設「えんじゅビル」を整備し、平成27年10月13日より業務を開始いたしました。

我が国は少子高齢化が進み、総人口に占める65歳以上の高齢化率は26.2%になっています。一方、飯田下伊那地域では一層高齢化が進んでおり、31.5%と高く、今後もこの傾向は一層進むと想定されます。

「日本老年学会」の分析では、65才以上の高齢者の身体・知的機能、健康状態は10～20年（ひと昔）前に比べて、病気にかかる割合はアルツハイマー病を除く全ての病気で低下傾向。要介護認定率もほぼ全ての年齢で低下したとし、5～10才は若返っている可能性がある」と評価しています。

健康に老い、住み慣れた地域で、心豊かに暮らし続ける、健康寿命の高齢社会。これは古来よりの人類永遠のテーマ「不老長寿」に繋がり、社会保障上の課題を解決しながら、私たちはこの流れを心から歓迎したいものです。

このような中、国は効率的で質の高い医療の供給体制の整備と「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

飯田病院では、当地唯一の精神科をはじめ質の高い医療サービスと介護保険サービスの資源（機能と人材）を効果的につなげ、国の方向性に沿って切れ目のない総合的な医療介護サービスを提供しています。介護の分野では、次頁の介護関係事業所を持ち、各分野で在宅の本人と家族の介護を支えています。

今後、より一層の在宅関連事業強化を図るため、病院南側のビル「愛称：えんじゅビル（旧シュガーランドビル）」へ移転・集約し、そこを拠点としてこの10月から業務を開始しました。さらに、デイサービスセンター「メイプル」を通所リハビリテーションに切り替える準備を進めています。

今回は、「えんじゅビル」に入居する5つの事業所を紹介いたします。（次頁）



心豊かに暮らし続ける

居宅介護支援 飯田病院

管理者 富田 万希子

居宅介護支援飯田病院は、国の平成12年介護保険事業開始とともにスタートし、現在11人のケアマネージャーがいます。

住み慣れた自宅で安心してお過ごし頂けるよう、ご本人やご家族のお気持ちを尊重しながら、介護保険の代行申請からサービスのご提案・ご紹介・居宅介護計画（ケアプラン）を作成しています。

入院中の患者さんがご自宅に戻られる時の退院調整会議に参加し、ソーシャルワーカー・地域の包括支援センターや関係部署との連携や同行訪問もしています。ご自宅にお伺いするなかで、身体の状態や生活に沿った適切なサービスかどうかを常に確認しながらサービスの調整を行っています。

平成23年10月には、「特定事業所加算Ⅱ」を取得しました。加算に恥じめよう1人1人の質の向上を目指し、利用者の方からより一層の信頼を得られるよう日々努力をしております。

通所リハビリテーション メイプル

管理者 林 千恵

11年目を迎えたデイサービスセンター「メイプル」は、設立当初から介護予防に力を入れて、パワーリハビリを中心に運動機能向上に取り組んできました。

利用者の4割近くの方が要支援で、みなさん運動意欲が旺盛でスポーツジムのような活気があります。入浴は家庭と同じような浴槽が3つあり、湯船を独占でき、ゆったりと入れると大変喜んでいただいています。もちろん、お湯は毎回入れ替えるため衛生的です。

メイプルのご利用者は社会的で横のつながりが感じられます。身体に関して悩みを持ちながらも、楽しみを持ち寄り、笑いが絶えません。

メイプルは来年から医療スタッフが加わり、飯田病院デイケア（通所リハビリテーション）として生まれ変わるよう準備をしています。在宅生活にとってプラスになるサービスを一層充実するとともに、これまでの姿勢を引き継ぎ、来て良かったと言っただけの施設であり続けたいと思います。

訪問看護ステーション たんぽぽ

管理者

「たんぽぽ」は、平成11年に開設し、現在一訪問をしています。専任職員は9名ですが、外を得ています。

心身に不具合があっても、心豊かに、その人支援するために、安全で安心できる質の高い看護

訪問看護を利用されている方には、医療ニ人生の終末期の方、重度心身障がいの方、精神ますが、病院との連携もあり、安心して在宅でまた、病院と家では利用者さんの表情が違いままの生活に触れ、利用者さんとゆっくり向きながら、在宅生活の質を高められる様支援してゆ

訪問看護は、利用者に寄り添い、様々な人生仕事であり、スタッフ一同やりがいを感じなが



大場 喜代子

一般科・精神科の利用者150名前後の利用者の
来・病棟からも専門スタッフ10名前後の応援

らしい生活を目指している利用者・ご家族を
を提供できるように努めています。

ズの高い要介護者、がん末期の方、老衰など
障がいの方などいろいろな方がいらっしゃい
生活することができます。

います。訪問看護ではその人の家庭でのありの
き合い、その人の思いや考えに共感・支持しな
きます。

に学び、自分の持つ「看護力」を総動員する
が頑張っています。

訪問介護ステーション すずらん

管理者 村松 えりか

『住み慣れた家で暮らしたい』という誰もが思う生活を支援
するため、平成12年に開設しました。スタッフは介護福祉士9
名、ヘルパー2級以上取得者10名が所属しています。

最近の介護情勢は『老老介護』『認々介護』あるいは『高齢
者の独居』が増えています。そうした方々の生活を支える役割
を担っているのが訪問介護です。個々の病と向き合い、生活歴
などを大切にしながら身体介護や生活支援のお手伝いをさせて
頂くことを心掛けています。

また、近年では介護の現場にも医療的な介護が求められてい
ることから、喀痰吸引、胃瘻栄養注入、決められた物品による
浣腸などの資格を持つ職員が増えてきており、今後全員の主格
取得を目指しています。

飯田病院理念は『仁の心』『仁』とは自他の隔たりを越えた
愛情、思いやり、優しさです。

自分を慈しむように、利用者の方々を慈しむ行い（サービス）
を目標とし、今後も技術等の研鑽に努めてまいります。

訪問リハビリテーション

管理者 山田 達朗

平成19年1月から地域の皆様に、より充実したリハビリ
サービスが提供できるように訪問リハビリテーション事業
を開始しました。リハビリテーション科から理学療法士3
名・作業療法士1名が訪問リハビリの専任として、飯田下
伊那地域にお住いの方を対象に訪問しています。

現在、医療保健と介護保険の方、40歳代から90歳後半
までの幅広い年齢層の方々のご利用いただいています。体
制は複数担当制としており、常にスタッフ間での情報共有
に努めています。

サービス内容は、家庭での生活行為・生活環境を評価
し、ご利用者・ご家族の望む暮らしの実現に向けて生活動
作・介護等に対する練習や指導を通して自立した生活がで
きるように支援をしています。

今後もこの地域に暮らす方々が住み慣れた場所でご家族
の方と共に和やかに過ごすことができるよう、微力ながら
貢献できればと考えています。

日常の生活動作でお困りのことがありましたら、いつで
もお気軽にご相談ください。



病院からのお知らせ

飯田病院附属阿智診療所長交代のお知らせ

平成27年10月1日付で飯田病院附属阿智診療所長が原 重樹より千葉 隆一（飯田病院総合内科部長）に交代いたしましたことをご報告いたします。

今後も職員一同、地元の皆さまの健康を守るために努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

スギ花粉症に対する舌下免疫療法開始のお知らせ

10月よりスギ花粉症に対する舌下免疫療法が当院でも開始となりました。この治療法はスギ花粉症を根本から治療するもので、症状の軽減や完治が期待できます。スギ花粉症でお悩み方はぜひこの機会に耳鼻科外来までお問い合わせください。



インフルエンザ予防接種 予約受付開始のお知らせ

インフルエンザ予防接種の予約受付を開始しました。

予約期間：10月5日（月）～12月5日（土）

予約場所：総合案内・総合受付

実施期間：11月5日（木）～12月25日（金）（予約なしは～12月18日（金））の木・金曜日

接種対象者：13歳以上（妊婦は除く）

接種費用：13歳以上64歳未満 4,860円

65歳以上 市町村による（市町村発行の予診票持参のこと）

冬から春はインフルエンザの流行シーズンです。十分な感染対策とともに流行前の予防接種をお勧めします。



世界糖尿病デー イベントのお知らせ

11月14日は、「世界糖尿病デー」です。これに伴い、飯田病院でもイベントとブルーライトアップを予定しております。多くの方のご来場をお待ちしております。

イベント

日時：平成27年11月12日（木） 9:00～11:00

場所：飯田病院エントランスホール他

内容：血糖測定・チラシ配布・食品サンプル配布

糖尿病教室 医師講演 佐々木成人医師

看護師 日常生活の心得

歯科衛生士 歯について

ブルーライトアップ

期間：平成27年11月9日（月）～11月15日（日）

時間：16:30～22:00

飯田病院ロビーコンサートのお知らせ

第150回 11月28日 (土)	広田 智之 (オーボエ) 上川 佳連 (ピアノ)	皆様に支えられ、飯田病院ロビーコンサートも第150回を迎えることができます。その節目を飾るのはこの方、飯田の秋の風物詩、オーボエ奏者の広田智之さんです。
第151回 12月12日 (土)	種子田 博邦 (ピアノ) 他	ピアニスト、作曲、プロデューサーなど様々な活動をしている種子田さんが初登場です。 メンバーは後日発表します。
第152回 1月23日 (土)	新春寿寄席 立川 こはる	立川談春さんの一番弟子で、女流落語家の立川こはるさんがこちらも初登場です。 新年の初笑いは飯田病院でいかがでしょうか？

いずれも、開場18:00、開演18:30、入場無料となっております。
ご家族、ご友人お誘い合わせてお気軽にご来場ください。出演者等の都合により日時が変更になる場合があります。詳しくは飯田病院までお問い合わせください。

第15回 飯田病院 いがぐり祭

10月18日(日) 第15回飯田病院「いがぐり祭」が行われました。

ドクター講演、健康チェックスタンプラリー、あまぐり薬局(調剤体験)、アロマハンドマッサージ、コンサート、模擬店、縁日、そば打ち、お茶会、東北海産物販売など、病院ならではの様々な企画に今回も多くの方にお越しいただきました。当日ご来場いただきました皆様、ご出演いただきました皆様、誠にありがとうございました。





精神科リハビリテーション科 下岡 佑子

作業療法とはリハビリテーションの一つであり、身体障害分野、発達障害分野、老年期障害分野、精神障害分野があります。当院は、身体障害分野、老年期障害分野、精神障害分野で作業療法士が治療に当たっており、その中でも私たちは精神障害分野を担当し“作業”を通じて患者さんの生活支援に関わっています。

精神科作業療法を利用されている患者さんは、当院精神科に入院・通院している方です。統合失調症やうつ病等の感情障害、認知症などにより、生活しにくさを感じている方に対して、医師の指示のもと作業療法を実施しています。

患者さん個々の課題に対して、編み物や縫い物等の手芸や、革細工・陶芸等の工芸、調理活動、屋上庭園・院外での農作業などの作業を利用し、対人交流の練習や体力をつけること、生活リズムを整えることなどを目標としてリハビリテーションを行っています。

入院患者さんには、上記の他にも病棟内でのストレッチ体操やレクリエーション、時には院外に出かけるなどの集団活動も行っており、患者さん同士の交流の機会となり、楽しめる時間を提供できることを目標としています。さらに近年は、認知症の方が入院治療を受けられることも多く、認知機能や体力の低下予防として、風船バレーやカルタなど馴染みの活動を取り入れています。

外来患者さんのご利用も多く、院内外のスタッフと連携を取りながら、生活や就労にむけての包括的な支援を行っています。

様々な理由により、生活しにくさを感じている方が、少しでも生活しやすくなるために、一緒に解決方法を探し、支援できるようこれからも努力して参ります。

鮭のパン粉焼き

栄養科
おすすめ
レシピ

鮭は一般的に秋が旬で、「秋鮭」と呼ばれます。鮭のピンク色はアスタキサンチンという、カロテノイド色素の一種で、強い抗酸化作用をもちます。

悪玉コレステロールの酸化を抑える、ストレス性免疫低下の抑制、白内障や胃潰瘍の防止に効果があるといわれています。

しかし、塩鮭などの塩分には注意が必要です。

材料（4人分）

材料	分量(4人分)
生鮭切身70g	4切れ
塩	少々
こしょう	少々
生たらこ	1/2腹
バター	大さじ2弱
玉ねぎ	10g
セロリー	10g
レモン汁	小さじ1弱
パン粉	大さじ2と1/2
パセリ	少々



エネルギー・・・147kcal たんぱく質・・・17.2g 脂質・・・7.3g 食塩・・・0.7g （1人分あたり）

【作り方】

- ① 鮭に塩・こしょうで下味をつけます。
- ② ①の鮭を200℃のオーブンで10分程焼きます。
- ③ バターは調理1～2時間前くらいに冷蔵庫から常温に出してやわらかくしておきます。
- ④ 生たらこは皮から卵を出しておきます。
- ⑤ 玉ねぎ、セロリーはみじん切りにしておきます。
- ⑥ ③④⑤とレモン汁をボールに入れ、混ぜ合わせます。
- ⑦ パセリはみじん切りにしてよく水を切り、パン粉と混ぜ合わせます。
- ⑧ ②の鮭に⑥のをのせ、上から⑦をふりかけて再び200℃のオーブンで焼き、こげ目がついたら完成です。



調理担当者より一言！！

・家庭では、塩・こしょうした鮭を魚焼きグリル等で一旦焼き、その上に具を乗せ、トースターで表面に焦げ目がつくくらい焼くと簡単です。

・バターは湯せんで溶かすのではなく、常温でやわらかくした方が失敗しません。



調理師 中平

飯田病院 外来診療予定表

平成27年10月現在

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	①		羽生修治			羽生修治	(交替制)	午後休診 *水曜日福岡医師 第2、4週のみ
	②	原重樹	原重樹	千葉恭	糖尿病外来	原重樹		
	③		福岡秀樹	福岡秀樹*		山路研二		
	④	糖尿病外来	渡部秀雄	渡部秀雄	山路研二	渡部秀雄		
	⑤	千葉隆一	佐々木成人	千葉隆一	千葉隆一	佐々木成人		
	⑥	原栄志	唐澤光治	佐々木成人	原栄志	唐澤光治		
	⑦		横田大介	羽生修治		横田大介		
神経内科		近藤恭史 (信大)	羽生修治	関島良樹 (信大)		羽生修治	(交替制)	午後休診
外科	①		田中穂積		田中穂積	田中穂積		午後休診 月・水・土曜休診
	②		森田誠市		森田誠市	森田誠市		
	③		柴田祐充子		柴田祐充子	柴田祐充子		
整形外科	①	鈴木健太郎		鈴木健太郎		鈴木健太郎	田中厚誌 (信大)*	午後休診 火・木曜休診 *土曜要電話確認
	②	矢嶋秀明		矢嶋秀明		矢嶋秀明		
	③	小林貴幸		小林貴幸		小林貴幸		
眼科	①	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子	浅井裕子	中澤哲治	(交替制)	
	②	中澤哲治		中澤哲治	中澤哲治			
泌尿器科		梅田俊一	深澤瑞也 (山梨大)	梅田俊一		神家満学 (山梨大)		午後休診 木・土曜休診
精神科		小宮山徳太郎 松本武典 松田あずさ	小宮山徳太郎 木下守	南風原泰 柿田充弘 松田あずさ	神庭靖子 杉浦琢 松本武典	南風原泰 柿田充弘	(交替制)	
耳鼻咽喉科		堀口茂俊	堀口茂俊		堀口茂俊		堀口茂俊	土曜日予約制
上部内視鏡			原栄志	(交替制)	(交替制)	原栄志	市瀬博	
下部内視鏡			原栄志	(交替制)	伊東一博	原栄志 伊東一博		
阿智診療所		羽生修治	(交替制)	原重樹	福岡秀樹	千葉隆一		午後休診 土曜日休診

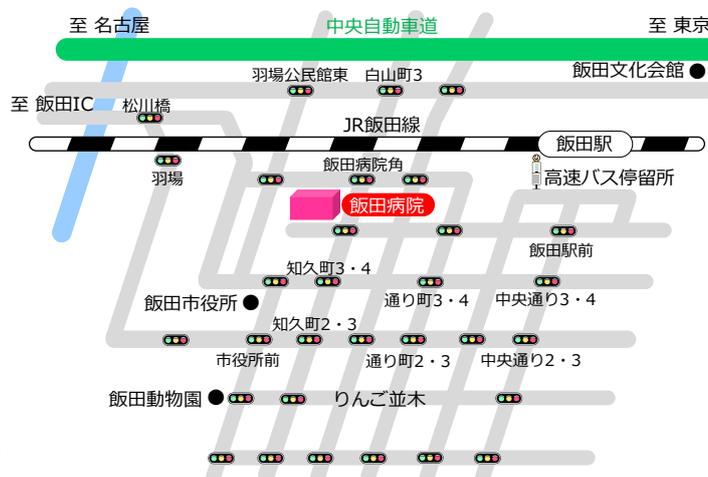
※ 内科、神経内科、外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科は午前11:00までの受付となります。

※ 土曜日午後は全科休診となります。



〒395-8505 長野県飯田市大通1丁目15番地
 TEL 0265-22-5150 FAX 0265-22-3988
 URL <http://www.iida.or.jp/>
 医療連携課 (月~土 8:30~17:30)
 TEL 0265-56-0031 FAX 0265-56-0032

- ◎ J R 飯田線 飯田駅より徒歩5分 (約300m)
- ◎ 中央自動車道 飯田I.Cより車で10分 (約5km)
- ◎ 飯田市市民バス 飯田病院前バス停下車
- ◎ 信南交通 飯田病院前バス停下車
飯田病院角バス停下車



広報誌 平成27年秋号 (第47号)

- 発行 社会医療法人栗山会
- 編集 広報委員会